

最近、夏の格好でいると朝方には、寒さを感じるようになりました。あの暑さはどこへいったのかなと思うほど急な変化を感じております。皆さんのところはいかがでしょう。

さて、コロナも気になりますが、インフルエンザ感染の大いに気になります(下記参照)。

◆東京都 インフルエンザ「流行注意報」発令を調整 9月は異例

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230921/k10014202181000.html>

学校での感染、学級閉鎖が増えてきているようですね。コロナ感染は高止まりのようですが、インフル情報も多く出てきています。感染の基本の徹底でインフル感染の減少と受け止めていましたが、増えてきた原因は？ 感染対策が薄れてきたのかなあ〜と…。何はともあれ、手洗い・手指消毒を細目にしています。電車の中のマスク着用も少なくなっていますが、私はマスク着用し乗車しています。東京都も咳エチケットなど基本的な感染防止対策を呼びかけておりますね。双方の感染拡大にご留意していきましょう。(菅野)

目次

- 1 「日本人の食事摂取基準（2025年版）」策定検討会
- 2 新型コロナワクチン 令和5年秋開始接種についてのお知らせを掲載しました。
- 3 【産業医学ジャーナル】46巻5号 J-STAGE 公開のご案内
- 4 関連情報

1 「日本人の食事摂取基準（2025年版）」策定検討会

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k3SF8dKcMnyaOqoBY>

○第2回「日本人の食事摂取基準（2025年版）」策定検討会 資料

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k3SF8dKcMnyaOq0BY>

資料一式

[議事次第 \[PDF形式：54KB\]](#)

[【資料1】日本人の食事摂取基準（2025年版）の策定の方向性 \[PDF形式：1.4MB\]](#)

<一部抜粋>

課題・検討の方向

- 食事摂取基準（2020年版）の対象は、健康な者・集団とし、生活習慣病等に関する危険因子や高齢者においてはフレイルに関する危険因子を有していてもおおむね自立した日常生活を営んでいる者・集団であるが、「生活習慣病とエネルギー・栄養素との関連」の記載については、疾患を有していたり疾患に関する高いリスクを有している者・集団において、服薬治療の手前の段階（保健指導等）での活用を想定している。
- 健康・栄養政策の動向を踏まえた食事摂取基準の活用を促す観点で、「生活習慣病とエネルギー・栄養素との関連」に「生活機能の維持」を加え、一般健康診断でスクリーニングされ、医療より手前の段階（保健指導等）で対応すべき疾患を含めてレビューし、その結果を基に検討することとしてはどうか。

[【資料2】水溶性ビタミン（ビタミンB1, B2, C）の策定に用いる指標について（福渡構成員 提供資料） \[PDF形式：696KB\]](#)

2 新型コロナワクチン 令和5年秋開始接種についてのお知らせを掲載しました。

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k3SO2SXmOOzjS50BY>

令和5年秋開始接種について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_autumn2023.html

○接種が受けられる時期

「令和5年秋開始接種」は、令和5年9月20日から令和6年（2024年）3月31日まで実施しています。

なお、接種状況が自治体ごとに異なることから、予約・接種開始時期につきましては、お住まいの市町村からのお知らせ等をご確認ください。

○接種の対象

令和5年秋開始接種は、**1人1回限り**受けることができます。

対象は、以下を全て満たす方です。

▷生後6か月以上の方

▷日本国内で初回接種（1回目・2回目）が完了している方又はそれに相当する接種（※1）が完了している方。

●追加接種（3回目以降の接種）を受けたかどうかは問いません。

▷前回の接種から、以下の一定期間が経過していること。（略）

○◆新型コロナワクチン「無料接種」今年度で終了、65歳未満は原則自己負担に Medical DOC

<https://news.yahoo.co.jp/articles/d175d0e0c6ab8ad9b1cde53fccdae5e350095069>

○◆社説：コロナ「第9波」 インフルと同時対策を 京都新聞

<https://news.yahoo.co.jp/articles/c06471538f20e7ada00c6f4b2e1e626061874d3a>

新型コロナウイルスの感染者数が高止まりしている。

厚生労働省によると、全国約5千の定点医療機関から4～10日の1週間に報告された感染者数は1カ所当たり20・19人だった。京都は17・49人、滋賀は16・03人で前週より増加した。 <*全国報告：<https://www.mhlw.go.jp/content/001148508.pdf> ご参照>

3 【産業医学ジャーナル】46巻5号 J-STAGE 公開のご案内

産業医学振興財団メールマガジン ■<https://www.zsisz.or.jp/>

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ohpfjrnl/-char/ja>

『産業医学ジャーナル』46巻5号（2023年9月発行）目次



【特集】 治療と仕事の両立支援の現在

1. 治療と仕事の両立支援の現状

(1) 企業と医療機関における情報・人材基盤の実態に係る調査から

豊田章宏（中国労災病院治療就労両立支援センター）ほか

(2) 両立支援コーディネーターの役割・養成の現状と今後の展開

金子善博（(独)労働者健康安全機構）

2. 職域と医療機関の連携・協働 勤務情報提供書と主治医意見書から
永田昌子（産業医科大学医学部両立支援科）
3. 嘱託産業医と両立支援 須賀万智（東京慈恵会医科大学環境保健医学講座）ほか
4. 両立支援と配慮事項をめぐって
産業医選任義務のない小規模事業場向け両立支援サポートシステムの開発
梅田絵理子（株式会社東芝）ほか
5. 産業保健活動としての両立支援の実践例
ソニーの制度と社内の両立支援コーディネーターについて
前泊味音（ソニーピープルソリューションズ株式会社）ほか

4 関連情報

◇ 厚生労働省▼△新着情報配信サービス から

(1) 働き方改革PR動画「はたらきかたススめ」シリーズ第4弾を公開

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=i2yd6cqEKmSClrgZY>

この動画シリーズは、2024年4月から開始する建設業で働く方やドライバーへの時間外労働の上限規制の適用に向けて制作したものです。今回公開した第4弾では、建設業で働く方の働き方改革を進めるにあたって、工事を発注する方々をはじめ、皆さまに知っていただきたいことを取り上げています

■はたらきかたススめ特設サイト

URL：<https://hatarakikatasusume.mhlw.go.jp/>

■厚生労働省 YouTube

URL（2分43秒）：<https://www.youtube.com/watch?v=y5PSPVGOA3s>

(2) 副業・兼業に関する情報提供モデル事業（ビジネス人材雇用型副業情報提供事業）を
10月2日から開始します

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=0zTDQdLgJb0ENrVBY>

厚生労働省は、個々人の意識の変化や構造の変化が加速していく中で、労働者個人の自律的なキャリア選択やライフステージに応じた多様な働き方へのニーズが高まっていることから、副業・兼業の推進を図っています。

産業雇用安定センターウェブサイト：<https://www.sangyokoyo.or.jp>

[【別紙1】副業・兼業に関する情報提供モデル事業の概要について \[678KB\]](#)

[【別紙2】従業員の「副業・兼業」に関するアンケート調査結果の概要について \[1.8MB\]](#)

(3) 第29回アルコール健康障害対策関係者会議の開催について

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=c5RiQhOqb94iE2DhY>

議題 <日時：令和5年9月29日（金）14:00～16:00>

1. 健康に配慮した飲酒に関するガイドラインの策定について
2. 第2期アルコール健康障害対策推進基本計画の令和4年度取組状況について
3. その他

(4) 第 170 回市町村職員を対象とするセミナー「チームオレンジの効果的実施に関するセミナー～認知症の人と本当に「出会えて」ますか?～」(オンライン会議)開催案内
<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=o0S1weKsAkyqCpMxY>

プログラムは[こちら \[105KB\]](#) からご確認ください。 <*オンラインでライブ配信>
<https://www.mhlw.go.jp/content/12602000/001148045.pdf>

○ライブ配信による傍聴を希望される方は、傍聴申込票に必要事項を記載いただき、以下のアドレス宛てに送付をお願いいたします。

メールアドレス：STSHAHO2@mhlw.go.jp

傍聴申込票：[第 170 回市町村セミナー傍聴申込票 \[15KB\]](#)

○傍聴申込期限は 9 月 29 日(金)までとします。

◇ J I L P T から

(1) 労働政策フォーラム「外国にルーツを持つ世帯の子育てと労働を考える」

(Zoom ウェビナー・オンライン開催)

10月13日(金曜)～19日(木曜)

<第1部>研究報告 10月13日～19日(オンデマンド配信)

<第2部>事例紹介・パネル 10月19日13時30分～16時(ライブ配信)

日本に暮らす外国人は 300 万人を超え、日本に定住して子どもを産み育てる人々が増えています。移住してきた外国籍の人々の非正規雇用の割合は高く、移住第一世代が労働市場において直面する問題は依然として多くあります。

(参加無料・要予約)

https://www.jil.go.jp/event/ro_forum/20231019/index.html?mm=1902

(2) 基幹統計として「フリーランスの働き方」を初めて把握/統計局レポート

総務省統計局は 14 日、フリーランスに関するレポート「統計 Today No.197」をホームページに掲載した。2022 年就業構造基本調査が基幹統計として初めて把握したフリーランスの数や働き方等を紹介している。有業者のうち本業がフリーランスの数は 209 万人で、有業者に占める割合は 3.1%。男女別では男性 146 万人、女性 63 万人。

本調査でのフリーランスの定義は、「実店舗がなく、雇人もいない自営業主又は一人社長であって、その仕事で収入を得る者」であり、農林漁業の者などは含まない。

<https://www.stat.go.jp/info/today/pdf/197.pdf>

(3) 2023 度「高年齢者活躍企業コンテスト」入賞企業を公表/厚労省

厚生労働省は 15 日、2023 年度「高年齢者活躍企業コンテスト」の入賞企業を公表した。高年齢者がその能力、経験を十分に活かし、いきいきと働くことができるような創意工夫がなされている企業の事例を表彰するもの。審査の結果、最優秀賞 1 社、優秀賞 2 社など、優秀な取組をしている 26 社を選定した。入賞企業の表彰式は、10 月 6 日(金)に東京で開催。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_34979.html

(4) 個人事業者等に対する安全衛生対策のあり方、報告書案を提示／厚労省検討会

厚生労働省は21日、「個人事業者等に対する安全衛生対策のあり方に関する検討会」を開催し、報告書案を提示した。労働者と同じ場所で働く労働者以外の者も安全衛生法令の保護対象とした最高裁判決を受け、23年4月に改正省令を公布した。

報告書案は、残された課題について、(1)個人事業主等の業務上災害の実態を把握する方策、(2)災害防止のための対策(自身による措置、発注者による措置など)、(3)過重労働・メンタルヘルス・健康確保対策、などの視点で整理。(1)では、労働者と同様に「休業4日以上死傷災害」が発生した場合を報告の対象とし、被災した個人事業者等自身のほか、注文者で災害発生場所の直近上位者や災害発生場所を管理する事業者を報告者とする、などを提起している。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_35319.html

(5) 記者発表「企業の賃金決定に係る調査」(企業調査)結果

JILPTは15日、「企業の賃金決定に係る調査」(企業調査)結果を記者発表しました。現在の企業収益(3年前比)は、「減少」傾向が5割前後で、「増加」傾向は3割前後。今後の収益見通しは、「増加」は6割で、「減少」は3割。過去1年間の価格転嫁の状況は「全く価格転嫁出来ていない」が3割でした。

賃上げ(定期昇給・ベースアップ)実施企業は、2021年、22年とも9割以上を占め、賃上げ実施の理由は、「社員のモチベーションの向上、待遇改善」が7割弱でトップ、「最賃引上げへの対応」「社員の定着・人員不足の解消」が4割、などが分かりました。

<https://www.jil.go.jp/press/documents/20230915.pdf?mm=1901>

(6) 10月から全都道府県で最低賃金を改定／厚労省

厚生労働省は、都道府県の2023年度地域別最低賃金額及び発効年月日を公表している。最低賃金時間額は、全国加重平均1,004円(2022年度961円)。1,000円超は東京(1,113円、最高額)、神奈川(1,112円)、大阪(1,064円)などの8都府県、最低額は893円(岩手県)。新たな地域別最低賃金額は、10月1日から順次発効する。

厚生労働省と中小企業庁では、最低賃金引き上げに伴う支援を強化しており、関連の助成金や補助金の利用案内をホームページに掲載している。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/minimumchiran/index.html

(厚労省の支援事業)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/zigyonushi/shienjigyoun/index.html

(最賃引上げを受けて賃上げに取り組む皆様へ／中小企業庁)

https://www.chusho.meti.go.jp/koukai/yosan/r4/r4_chinage.pdf

(7)「介護と仕事の両立推進シンポジウム」／東京都

東京都は11月2日(木)、「介護と仕事の両立推進シンポジウム」をオンラインで開催する。「介護と仕事の両立」をテーマに、主に企業の経営者、人事労務担当者に向け、基調講演、企業による具体的な介護と仕事の両立支援策の紹介やトークショー等。参加無料。定員200名、HPの申込フォームから事前に申し込む。

<https://www.hataraku.metro.tokyo.lg.jp/kaizen/ryoritsu/kaigo/symposium/>

(ご案内チラシ)

https://www.hataraku.metro.tokyo.lg.jp/kaizen/ryoritsu/kaigohukushi_A4flyer_230911ol.pdf

(8)「うつ病休職者の職場復帰支援を考えるフォーラム」／東京都

東京都は10月25日(水)、「第16回うつ病休職者の職場復帰支援を考えるフォーラム：職場のメンタルヘルス再考—働き方改革の導入、ポストコロナに向けてどう変わってゆくのか—」を会場(杉並区)とオンラインで開催する。定員は会場180名、オンライン200名。参加無料。要事前登録、締切は10月17日(火)。

<https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/chusou/kouenkaiboshu/16ustu.html>

◇ ◆【From_M】 から 情報提供有難うございます

◆メンタルヘルス対策などで連携 協会けんぽと三重さんぽセンターが協定

<https://www.isenp.co.jp/2023/09/22/99080/>

【協定を締結した内藤支部長(左)と片岡所長＝津市栄町の全国健康保険協会三重支部】

https://www.isenp.co.jp/wp-content/uploads/2023/09/web08_kyokaikenpo.jpg

【津】全国健康保険協会(協会けんぽ)三重支部と労働者健康安全機構三重産業保健総合支援センター(三重さんぽセンター)は21日、県民の健康づくりの推進に向けた包括的事業連携に関する協定を締結した

◆「病気になりやすい職場」が一発でわかる“ストレスレベル早見表”とは？

<https://news.yahoo.co.jp/articles/e8226d561ada4bc2d2ab7cc518eaf5a27cbf245?page=1>

ストレスと健康は密接な関係にあります。特に、長期間持続する過剰なストレスは、「うつなどの精神疾患だけでなく、高血圧や免疫機能の低下といった身体的な症状も引き起こす可能性がある」と『健康になる技術 大全』の著者・林英恵さんは言います。

●仕事と病気の間関係をモデル化

裁量度高い・要求度高い→能動的な仕事

裁量度低い・要求度高い→負荷が大きい仕事

裁量度高い・要求度低い→負荷が小さい仕事

裁量度低い・要求度低い→受け身な仕事

- (1) 能動的な仕事—仕事一筋な不養生
- (2) 負荷が大きい仕事—常に緊張感との戦い
- (3) 負荷が小さい仕事—働くことが健康でいられる秘訣になる
- (4) 受け身な仕事—刺激がないことの対価

◆「上司からの指示は契約だ」。仕事を任されて二流がすること、一流がすること
<https://news.yahoo.co.jp/articles/e843296563be9b81547b1572f4859f3553579627>

■仕事を任されたらすべき 8 箇条

- 1.納期を確認せよ
- 2.成果を合意せよ
- 3.仕事を分割せよ
- 4.難しい仕事から取り掛かれ
- 5.行き詰まったら、「即、相談」せよ
- 6.説明責任を果たせ
- 7.自分でゼロから考えるな。前例を探せ
- 8.人への依頼は早めにし、1 から 7 を守らせよ

◆日本の大腸がん患者は術後 1.1 か月程度で仕事復帰

—仕事復帰に向けたより良いコミュニケーションを目指して— 京都大学

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research-news/2023-09-20-3>

[https://www.kyoto-u.ac.jp/sites/default/files/2023-](https://www.kyoto-u.ac.jp/sites/default/files/2023-09/web%202306%20Fujita_DotCandR_relj-768cac748fc5f40f7bdfe662c6be1a3e.pdf)

[09/web%202306%20Fujita_DotCandR_relj-768cac748fc5f40f7bdfe662c6be1a3e.pdf](https://www.kyoto-u.ac.jp/sites/default/files/2023-09/web%202306%20Fujita_DotCandR_relj-768cac748fc5f40f7bdfe662c6be1a3e.pdf)

本研究の結果、大腸がんの手術から復職までの期間の中央値は 1.1 か月、

術後 1 年時点で仕事をしている患者の割合は 79.2%と日本の大腸がん患者の術後就労状況は比較的良好でした。

◆新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応について | 日本環境感染学会

http://www.kankyokansen.org/modules/news/index.php?content_id=328

◆5 類移行後、COVID-19 の感染対策面の課題に対する学会の考え方

一般社団法人日本環境感染学会 COVID-19 対策委員会

http://www.kankyokansen.org/modules/news/index.php?content_id=518

新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行し、社会の向き合い方も大きく変化してきています。ただし、その後も感染の流行は起こり、医療機関や介護施設はその対応に苦慮している現状が続いています。本学会では 2023 年 1 月 17 日に「医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド（第 5 版）」を公開しておりますが、その後、現状を考慮して個別の課題ごとに学会としての考え方を提示させていただくことにしました。

<https://www.roudoukyoku-setsumeikai.mhlw.go.jp/>

◆健康管理研究協議会 第 61 回総会のご案内 オンライン開催

【総会テーマ】「デジタルヘルステクノロジーの現状と未来」2023 年 11 月 18 日（土

<http://kenkankyo.org/>

人生 100 年時代といわれる超高齢化社会を豊かにするため、人工知能（AI）、チャットボット、IoT、ウェアラブルデバイス、ビッグデータ、仮想現実（VR）などのデジタルテクノロジーを活用した新しい医療やヘルスケアに期待が高まっています。

◆自然災害時における労働基準関係行政の運営について（令和5年9月14日基発0914第7号一部改正）（PDF,287KB）

【労働基準局総務課 第5編第1章その他】

<https://www.mhlw.go.jp/hourei/doc/tsuchi/T230922K0010.pdf>

◆独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所

○過労死等防止調査研究センターのポータルサイト「健康な働き方に向けて」を公開した

<https://www.jniosh.johas.go.jp/groups/overwork.html>

○健康な働き方に向けて | 過労死等防止調査研究センター（RECORDs）

https://records.johas.go.jp/?_gl=1*1ilu2t1*_ga*OTIxMDgwNjUuMTY1MTQ1MzE3NA.*_ga_8X19RJMCVB*MTY5NTI1ODc1My4xMC4wLjE2OTUyNTg3NTMuMC4wLjA.*_ga_VK5R772QT2*MTY5NTI1ODc1My4xLjAuMTY5NTI1ODc1My42MC4wLjA.

◆治療と仕事の両立支援セミナーを開催します 東京労働局

https://jsite.mhlw.go.jp/tokyo-roudoukyoku/news_topics/topics/ryouritsuseminar.html

日時 令和5年10月27日（金） 10時～12時

場所 九段第3合同庁舎11階共用会議室1-1 東京都千代田区九段南1-2-1

定員 80名（定員になり次第申込締切）

内容 1 治療と仕事の両立支援のためのガイドラインについて

2 企業の取組事例

○治療と仕事の両立支援セミナー

[お申し込みはこちらから（クリックしてください）](#)

<https://www.roudoukyoku-setsumeikai.mhlw.go.jp/briefings/MjEyOA==/aa624627601a409aae5dcfaaf4138fbb%E3%80%80%E3%80%80>

小野田 富貴子（両立支援担当）

fukiko-onoda@honbu.johas.go.jp

中山 篤（メンタルヘルス担当）

atsui78natsu@gmail.com

菅野 由喜子（メンタルヘルス担当）

yukikan28@gmail.com